



平成 17 年 8 月 25 日

各 位

会 社 名 東日本ハウス株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 成 田 和 幸  
( J A S D A Q ・ コード 1873 )  
問 合 せ 先 執行役員財務部長 青苅雅肥  
T E L ( 0 1 9 ) 6 2 4 - 3 2 6 1

特別損失の発生・繰延税金資産一部償却および  
平成 17 年 10 月期 通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 10 月期（平成 16 年 11 月 1 日～平成 17 年 10 月 31 日）の業績予想について、平成 17 年 6 月 21 日付当社「平成 17 年 10 月期 中間決算短信（連結）」および同日付当社「平成 17 年 10 月期 個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想について修正するとともに、特別損失の主な内容および繰延税金資産一部償却について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1．特別損失の主な内容について

同日付発表いたしました当社の連結子会社である銀河高原ビール株式会社の清算に伴う損失として 5,700 百万円およびビール事業全般に係る整理損失 1,800 百万円の特別損失が発生する見通しとなりました。

2．繰延税金資産一部償却の内容について

子会社の清算に伴う損失およびその事業全般に係る整理損失を特別損失 7,500 百万円計上したことにより、繰延税金資産の計上額について見直しをいたしました。前期末（平成 16 年 10 月期）の繰延税金資産残高 9,191 百万円から、当期末（平成 17 年 10 月期）の繰延税金資産残高 6,500 百万円に減額をし、法人税等調整額 2,700 百万円を計上する見通しとなりました。

3. 通期連結業績予想の修正（平成16年11月1日～平成17年10月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	83,000	2,640	1,250
今回修正予想（B）	79,800	2,490	8,000
増減額（B - A）	3,200	150	9,250
増減率	3.9%	5.7%	-
（ご参考） 前期実績（平成16年10月期）	88,863	785	26

修正理由

- （1） 売上高については、単独の完成工事高が減少したことと、子会社の売上高が前回見込みから減少したことにより、前回予想を下回り79,800百万円となる見込みです。
- （2） 経常利益については、売上高が減少したことと、子会社の業績が悪化したことにより、前回予想を下回り2,490百万円となる見込みです。
- （3） 当期純利益については、同日付で「子会社の清算に関するお知らせ」で発表しておりますとおり子会社の清算およびその事業全般に係わる整理損失を7,500百万円特別損失に計上することと、それに伴ない繰延税金資産を減額したことにより、2,700百万円の法人税等調整額を計上することから前回予想を下回り当期純損失が8,000百万円となる見込みです。

4. 通期単独業績予想の修正（平成16年11月1日～平成17年10月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	68,100	1,720	600
今回修正予想（B）	66,800	1,720	8,600
増減額（B - A）	1,300	-	9,200
増減率	1.9%	-	-
（ご参考） 前期実績（平成16年10月期）	73,562	535	497

修正理由

- （1） 売上高については、完成工事高が前回見込みから減少したことにより、前回予想を下回り66,800百万円となる見込みです。
- （2） 経常利益については、売上高が減少したものの経費削減効果により、前回予想のとおりに1,720百万円となる見込みです。
- （3） 当期純利益については、同日付で「子会社の清算に関するお知らせ」で発表しておりますとおり子会社の清算およびその事業全般に係わる整理損失を7,500百万円特別損失に計上することと、それに伴ない繰延税金資産を減額したことにより、2,700百万円の法人税等調整額を計上することから前回予想を下回り当期純損失が8,600百万円となる見込みです。

以上